

こんにちは

第 182 号

2025年(令和7年)

5月1日発行

須坂市議会です

発行 ● 長野県須坂市議会

発行責任者 ● 議長 石合 敬

編集 ● 市議会広報特別委員会



3月22・23日に北部運動広場で開催された
「SUZAKA スポーツフェスタ」にて
ドッジボールのガリコ KIDS の皆さん

3月
定例会

2月25日～
3月24日

第1回
臨時会

2月12日・
13日

第2回
臨時会

4月16日

議会新体制決まる	P 2・3
3月定例会 当初予算に附帯決議	P 4
委員会審査	P 5～7
ズバリ！市政を問う 代表質問・一般質問	P 8～24
審議結果	P 25
議会の動き	P 26・27
市民の声・6月定例会日程(予定)	P 28

6月定例会は6月10日(火)開会の予定です

令和7年第1回臨時会が2月12日・13日に開催され、議員役員の選挙・選任が行われた。

投票の結果、議長に石合敬議員、副議長に浅野隆義議員を選出し、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員の選任などを行い、新しい議会の構成を決定した。

第1回
臨時会
2/12・13

正副議長を選出

新たな委員会構成を決定

就任にあたって



副議長
浅野 隆義



議長
石合 敬

市民の皆様には日頃から市議会活動並びに市政各般にわたり、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

このたび、先の第1回臨時会におきまして、私たちは議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に就任いたしました。このような大役に変身の引き締まる思いでございます。

市民の皆様にも身近な基礎自治体の議会として、市民の皆様の声に耳を傾け、闊達で公平かつ円滑な議会運営と、須坂市の発展のために努力してまいりたいと存じます。

市民の皆様には、さらなるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会 特別委員会など

予算決算特別委員会

◎酒井 和裕 ○宮本 泰也
委員は、議長を除く全員

インター周辺等開発特別委員会

◎荒井 敏 ○堀内 章一
委員は、議長を除く全員

監査委員

岩田 修二

議会運営委員会

◎岡田 宗之 ○竹内 勉
山崎 永一 早川 航紀
荒井 一彦 宮本 泰也
堀内 章一 中島 義浩

市議会広報特別委員会

◎野崎 天馬 ○水越 正和
山崎 永一 牧 重信
久保田克彦 宮本 泰也
浅井 洋子

教えて！

議会のこと

市議会って
どんなところ？



市議会と市長

市議会議員も市長も選挙で選ばれた市民の代表です。市議会議員は20人で市の重要な仕事を議論して決めます。市長は議決に基づき、市職員を指揮して実際に市の仕事を執行します。

市議会の仕事

議決 市議会では、市長や議員から提案された議案（条例、予算、契約、人事など）を審議し、可否を決定します。予算編成と提案は市長の権限です。請願・陳情 市政などに関する市民の希望などを審査し、必要に応じて関係機関に意見書を提出します。

一般（代表）質問

市政の方針や行政が公平かつ効率的に運営されているか明らかにするため、議員は本会議で質問を行い、市側の答弁を求めます。

市議会の構成

議長・副議長 議員の中

新しい委員会構成

◎委員長 ○副委員長

2025年3月24日現在

常任委員会

総務文教委員会

総務部、消防本部、会計課、教育委員会、選挙・監査委員等、議会事務局に関すること



浅野隆義 酒井和裕 荒井 敏 荒井一彦 野崎天馬
○久保田克彦 ◎水越正和

福祉環境委員会

健康福祉部、福祉事務所、市民環境部、社会共創部に関すること



宮本泰也 浅井洋子 竹内 勉 西脇 隆
○霜田 剛 ◎山崎永一

経済建設委員会

産業振興部、まちづくり推進部、水道局、農業委員会に関すること



牧 重信 岡田宗之 岩田修二 堀内章一
○早川航紀 ◎中島義浩

議会改革等検討特別委員会(新設)

◎浅井 洋子 ○浅野 隆義
早川 航紀 牧 重信
竹内 勉 酒井 和裕
岩田 修二

長野広域連合議会議員

宮本 泰也 浅井 洋子 中島 義浩

須高行政事務組合議会議員

浅野 隆義 久保田克彦 荒井 敏
岡田 宗之 酒井 和裕 霜田 剛

市議会ミニクイズ

須坂市議会ができて71年目になります。

Q1 最初の選挙で選ばれた議員(定数は30人でした。現在の議員は何人?)

①40人 ②30人 ③20人

Q2 これまで、249人の市民が議員になりました。このうち女性は何人?

①120人 ②60人 ③6人

☆答えは26ページ

から選挙で選ばれます。
議長は議場の秩序を保ち、議事の運営を行うほか、議会を代表して意見書提出や請願・陳情の受理をします。副議長は、議長が欠けたときなどにその職務を行います。
本会議 市議会は毎年3、6、9、12月の4回の定例会と、必要に応じて開催される臨時会があり、全員が議場に集まって審議する本会議を中心に運営されます。
委員会 より詳しく専門的に審査するため、3常任委員会と、目的に応じた各種委員会が設けられています。



2025年度当初予算総額 482億1914万円を議決

今定例会では、25年度当初予算案、24年度補正予算案や条例案など36件を審議した。一般会計当初予算に対して修正案が2件提出され、うち1件が可決された。そのほかの議案は原案のとおり可決・同意した。

ふるさと納税返礼品産地偽装問題を受け 一般会計当初予算案に対する附帯決議を全会一致で可決 市は、予算執行に当たり大型事業の先送りを検討

- 1 ふるさと納税返礼品の産地偽装疑惑に対する真相究明、市民・農家への説明、再発防止策の策定と実施、該当する寄附者への対応を速やかに行うこと。
- 2 須坂市のふるさと納税の受入停止が長期化した場合は、歳入の大幅減と、被害者に対する補償等による支出増により財政状況はひっ迫することが必至であることから、2025年度予算執行に当たっては、市民福祉を最優先し、先送りできる大型事業を始め歳出全般にわたって危機意識をもって執行されたい。

吉向焼購入のための費用削除の修正案を可決 くつろぎ荘改修（入浴施設廃止等）費用削除の修正案は否決

2025年度一般会計当初予算の文化施設管理事業に上された、吉向焼（市指定有形文化財を含む16点）取得のための備品購入費250万円を減額する修正案は賛成多数で可決された。

また、くつろぎ荘（仁礼町）の入浴施設廃止を含む長寿命化工事に係る老人福祉センター整備事業3億9530万円を削除する修正案は賛成少数で否決された。（議員の賛否は2ページ参照）

一般会計予算

文化施設管理事業に関する修正案 （吉向焼購入予算の削除）要旨

提案者 宮本 泰也 ほか1名

今回は唐突な提案であり、所有者からの買取り要望から始まったもの。文化財の取得は原則寄附とすべき。

吉向焼をどのように活用していくのか、ビジョンが不明確であり、市が取得しなくても吉向焼の研究はできると考える。

ふるさと納税返礼品産地偽装問題の影響で納税額の大幅な減少が見込まれ、先送りできるものは先送りしなければ、真に必要な予算確保が難しくなる。



「修正動議
（吉向焼）」

賛成討論

岡田 宗之

購入しようとする吉向焼16点のうち、市指定文化財の1点を除き須坂市で焼かれたものと断定できない。市指定文化財の1点は須坂市にとって貴重な財産であり購入するべき。一旦250万円の予算をゼロとして、市指定文化財だけの購入を交渉されるよう、修正動議に賛成する。

一般会計予算

老人福祉センター整備事業に関する修正案 （くつろぎ荘改修工事予算の削除）要旨

提案者 竹内 勉 ほか1名

担当部課と理事者・総務部で、利用者の意見・要望も聞かずに入浴施設の廃止を決めたことは大問題。

今年、利用者団体、入浴施設利用者の説明会が開かれ、廃止反対の意見も多数出された。入浴施設は、身体を清潔に保つ、健康増進・ストレス解消・認知症対策、孤独孤立対策になり、生きがいづくりの柱になる事業。

入浴施設の代替案が具体的にない段階で市民・利用者の意見を聞く時間が必要。



「修正動議
（くつろぎ荘）」

賛成討論

久保田 克彦

入浴施設廃止は利用者には全く周知されず、市に住民自治を醸成させる姿勢がみじんもない。説明会で市は、廃止は決定していると繰り返し返すばかりで、廃止理由に正当性のないことは明らか。孤立化や物価高騰への対策など高齢者福祉施策を検討することなく拙速にくつろぎ荘の入浴施設を廃止することは禍根を残す。



参考 須坂市指定文化財 吉向焼
善光寺香炉（市立博物館所蔵）

※ 1万円未満を切捨てて表記しています。

経済建設

4月市報掲載の今後の湯っ蔵んどの方針は

委員長 中島義浩
副委員長 早川航紀
委員 牧田重信
岡田宗之
堀内章一
岩田修二

調査研究

Q 「土地・建物（源泉地を含む）を民間事業者へ無償譲渡」「5年間の温泉事業の継続」

の内容は最低条件。
Q 事業者に対して条件を厳しくする交渉ができなくなるのでは。
A 条件の表記については再考する。

「温泉事業を行う意向の事業者がない場合は温泉事業を廃止する施設活用を検討」との原稿案の条件は確定しているのか。

Q 源泉地を含む無償譲渡とあるが、源泉権は温泉の非常に有力な武器になるので十分検討するべき。
A 勉強して検討する。湯っ蔵んどのについては改めて委員会 で調査研究することとした。

A 参入希望事業者があるかサウンディング調査し、条件は改めて細かく決めていく。こ

総務文教

刑法等の一部改正に伴い条例を整備

委員長 水越正和
副委員長 久保田克彦
委員 浅野隆義
荒井大天
荒井裕敏
酒井和裕

Q 刑法の「禁錮」を「拘禁刑」に改める議論の経過は。

創設する拘禁刑では、刑務作業は受刑者ごとに決定されることになり、拘禁刑に一本化される。
《全会一致で可決》

A 懲罰と禁錮は、刑務作業の有無で区別されていたが、代わって

調査研究

議会への説明は不可欠だ。基本方針の決定はどこでされるのか。

Q 初めて聞く義務教育学校について、市民アンケートで出された不安をどう埋めるのか。

A 最終的には、市教委が決定する。

A 保護者、地域等で丁寧に説明していく。

Q 市教委は市民の意見を尊重し、方針化の議論と経過など、議会の理解を得ながら進めることが必要だ。

Q 学校統廃合をとまなう大きな改革であり、

A 説明をしていく。

福祉環境

福祉介護の有償ボランティア（スケッター）

委員長 山崎永一
副委員長 霜田剛
委員 宮本泰也
西脇隆
浅井洋子
竹内勉

調査研究

Q 有償ボランティアの謝礼金はどの位か。

A 配置基準に力ウントされないが、有償ボランティアの利用により施設職員の業務負担は軽減される。

A 10時から2時まで配膳下膳を手伝って1回3千円など、事業所が金額を設定。

Q 有償ボランティアは施設職員の配置基準に力ウントされるのか。



応募はこちらから



長野県社会福祉協議会ホームページ「スケッター募集！スキマ隙間時間に気軽にお手伝いしませんか？」

令和7年 第2回臨時会

第三者委員会設置の条例案、補正予算案を審査

4月16日（水）に「令和7年第2回須坂市議会臨時会」が開催され、議案審査に先立って緊急質問が行われた。

★議案第33号須坂市ふるさと納税問題第三者委員会条例の制定についてを原案可決

★議案第34号2025年度須坂市一般会計補正予算第1号を修正可決
議員4人から、第三者委員の委員報酬など計640万円の補正予算案を340万円に減額する修正動議が提出され可決した。

議員12名で構成される「ふるさと納税返礼品産地偽装問題調査特別委員会」が設置され、委員長に宮本泰也議員、副委員長に浅野隆義議員が選任された。



ふるさと納税返礼品産地偽装問題調査特別委員会

一次号のお知らせ

「第2回須坂市議会臨時会」の詳細は、6月1日に臨時号として市議会ホームページと、市総合案内、各地域公民館に設置予定です。

当初予算

子育て・福祉・教育

老人福祉センター整備
事業
3億9530万円

3億9530万円

Q かつろぎ荘長寿命
化改修工事は、当初入
浴施設の廃止は盛り込
まれていなかったが、
なぜ急に廃止なのか。

A 利用者団体の要望
も同う中で入浴施設を
廃止して、防音室や軽
運動室などに転換し、
これからの高齢者の皆
さんの生きがい活動の
場の確保するとともに、
今後の維持管理経費な
ど総合的に判断した。

Q 不登校児童生徒支
援事業の制度内容は。

A 県の認証を受けて
いるフリースクールに
通い、学校と連携が取
れている児童生徒に年
12万円交付する。

中学校部活動の地域移行
415万円

Q 保護者負担と移行
のスケジュールは。

A 負担金は会費3千
円と保険料800円。
25年度は、体制が整っ
た種目から順次移行し、
26年度中に休日の部活
動の地域クラブへの完
全移行を行う。

新しい学校づくり基本
方針策定費用
562万円

事業内容は。

A 全戸配布用リーフ
レットと、説明用「動
画」を制作し、保護者、
市民に周知を図る。

フリースクール利用料
補助事業
24万円

24万円

Q 委託先はどこか。
家事支援が中心で、
介護保険や障がい者支
援を行っているヘルパ
ー事業所を想定。

200万円

Q 子ども食堂への補
助というが、どうい
う団体が対象か。

A 貧困対策、親子関
係の改善、居場所づく
りという3つの機能を
有する運営団体への経
費補助。



大規模改修工事が予定される須坂小学校・
支援学校を視察する総務文教分科会員

防災・生活

避難所環境整備事業
360万円

360万円

事業内容は。

A 市内3カ所に、簡
易ベット50個、簡易ト
イレ8台を設置する。

消防団退職報奨金
2135万円

2135万円

Q 63人を見込んでい
るが予算立ては。

A 5年以上勤務し退
団する団員に支給。勤
続年数や階級によって
報奨金の額が定められ
ている。

自転車用ヘルメット購
入費補助事業 廃止

ヘルメットの着用
率は低い。特に高校生
に対しては廃止せず、
市独自で制度を継続す
るべきだ。

A 補助実績が低く廃
止するが、必要に応じ
て検討する。

文化施設管理事業
(展示資料等購入費)
250万円

250万円

Q 吉向焼は原則寄附
としていたが、その基
本方針を変えてまで、
なぜ市が購入するのか。

A 購入前提で交渉し
たわけではなく、相談
交渉する中で市指定文
化財の市外への流出や
指定解除を防ぐため、
必要最小限のものを取
得する判断に至った。
次世代への文化の継承
のためにも購入する価
値はあると考える。

戸籍住民基本台帳整備
事業(備品購入)
741万2千円

741万2千円

Q 「書かない窓口」
のメリットは。

A マイナンバーカー
ドの情報から記入項目
が自動入力され、市民
の負担軽減、書き間違
いの防止、待ち時間短
縮、手続効率化がはか
られる。

住民基本台帳等基幹系
システム標準化移行業
務委託料
1億3520万円

1億3520万円

Q 25年度中に移行は
完了するのか。

A 一部広域のシステ
ムを除いて完了する。



語であることを広く市
民の方に周知し、理解
を深めるきっかけとし
たい。

産業振興・まちづくり

空き家解体事業補助金

500万円

Q 対象と補助額は。

A 空家特措法に基づき特定空家に認定された建物とそれに準ずる老朽化した危険な空家。解体事業の5分の4、上限100万円を補助。

Q 市内の対象となりそうな空家は何件か。

A 国ガイドラインの判定表に基づき審査を行い、補助対象に該当する特定空家として現在把握している建物は14件。

産地ブランド推進事業

1425万円

Q 果樹振興推進事業負担金800万円の具体的な内容は。

A 新たなブランド化を目指して須坂市産ワッサーを全国に浸透させるため、ニーズ調査やPRを行う。

24年度予算（3606万円）と比較して大幅に負担金が削減されている理由は。

A 24年度は蔵のまちスクウェアにおける農産物等販路拡大イベント経費（2400万円）を計上。25年度はイベントを取りやめ、販路拡大のための費用を上乗せする。



須坂市産ワッサー

峰の原クロスカントリーコース ネーミングライツ 50万円

Q 50万円の金額設定根拠は。

A 同等規模の施設が

全国的にみても少なく、近くの菅平のアンダーアーマーパーク（700万円）を参考にした。

施設規模が約7分の1ということ、知名度を考慮して50万円とした。



峰の原クロスカントリーコース

Q 一度決めてしまうとしばらく変更はできないのか。何年契約を考えているのか。

A 現在制度設計中。3月中には要綱を定めていきたい。

デジタル人材育成事業委託料 200万円

職業観醸成事業委託料 100万円

Q 事業の対象者と内容は。

A デジタル人材育成事業は、24年度こども課で実施してきた子育て就労支援事業を参考に、女性、子育て中の方を主な対象に考えているが、幅広く募集をかけたい。

職業観醸成事業は、主に小中学生、高校生、大学生に市内の産業や企業を知ってもらう機会の創出と、高校生や大学生、若手社員との意見交換会や研修セミナーを行い、地元で働いてもらうきっかけを作る。

それぞれ子育て総合就労支援センターbotata（ポータ）を活用したいため、指定管理者である㈱グーライに事業委託を想定。内容は詰まっていない

部分がある。

意見 予算計上して事業を実施するのであれば、細部まで詰めて計上願いたい。

受注開拓事業補助金 100万円

Q 事業者が自社製品を展示会や見本市で出展する費用を補助することだが、行政が支援する必要があるのか。

A 今年度は対象額の2分の1、限度額10万円を補助し、予算額を全て使い切った。近年、東京ビッグサイトや神戸など大きな会場へ出展する企業が増えており、費用も掛かっている。企業にとって大きな効果が見込まれ、25年度は限度額を20万円に引き上げて支援したい。

2024年度

補正予算

福祉医療費給付金

3千万円

Q 増額の要因は。

A 今年の年末年始にインフルエンザやコロナが流行したことが影響。

旧上高井郡役所使用料（歳入） 66万円

Q 増額の要因は。

A 近年、体操や社交ダンスの団体の利用が増加傾向のため。



「2024 補正予算の概要」



文芸協のご協力により議場が華やかに
(今回は、アオモジ、ガーベラ、ストック、タニワタリを生けてくださいました。)

代表質問は、会派として施政方針や市長の行財政運営の基本姿勢や政治姿勢を問うものです。
一般質問は、議員が市の行政事務全般の執行状況や将来の方針等について政策提案を含めて質問し、市長や教育委員会などの見解を求めるものです。
質問事項は事前に通告され、質問時間は一人30分以内（答弁は含まず）です。

代表・一般質問

ズバリ！
市政を問う

質問通告

代表質問

【3月4日】

市民共創会（岩田修二）……………P9

- 総合計画前期5か年最終年度の課題
- 2025年一般会計当初予算施政方針について
- 施政方針に示されている重点事業の概要について

いいよね須坂（早川航紀）……P10

- 行財政改革について
- 2025年度の主な重点事業について
- 基本目標達成に向けた施策について

一般質問

【3月4日】

岡田 宗之……………P11

- 地域公共交通の充実による移動環境の整備について
- 商業活性化の強化について

荒井 敏……………P12

- 東京一極集中における須坂市のあるべき姿
- 学校登山を奨励すべきだ
- 体育館に冷暖房空調設備設置を
- 上下水道料金の改定

【3月5日】

水越 正和……………P13

- 2025年問題の検証について
- 都市計画道路整備の進捗状況と課題について

浅井 洋子……………P14

- 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組
- 「豊かさ」と「しあわせ」を感じる共創のまちづくり

牧 重信……………P15

- 2025年問題とは
- 中心市街地の活性化
- 交付金によるイベントについて
- 湯っ蔵んどについて

西脇 隆……………P16

- 須坂市の農業政策について
- 消防本部業務について

【3月6日】

野崎 天馬……………P17

- 子どもは宝プロジェクト
- 部活動地域移行に関わるスポーツをする子どもの環境について
- ネーミングライツ・有料広告

浅野 隆義……………P18

- 製造業の経営環境と支援策について

久保田 克彦……………P19

- 子どもが通う学校が統廃合される「基本方針案」について
- 子どもの成長・発達を保障する保育環境の整備を
- 地域住民の「生活の足」を保障する地域公共交通で安心できる地域を

山崎 永一……………P20

- 移住・定住政策について
- まちの賑わい創出事業について

【3月7日】

宮本 泰也……………P21

- 健全な財政運営と「格差」「分断」社会の是正について
- 子育て・人権政策について

竹内 勉……………P22

- 健全財政を堅持し、温かみのある市政運営を
- 老人福祉センターくつろぎ荘の入浴施設の存続を

堀内 章一……………P23

- NEXT・GIGAに向けたICT環境整備について
- 学校体育館への空調設備設置促進について
- 文化芸術の促進について

荒井 一彦……………P24

- 超高齢社会の時代に向けて
- 須坂市の文化財の保護と活用について

※各ページの二次元コードをスマートフォンなどで読み込むと、その議員の質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

総合計画前期5年の検証と達成度

基本目標の検証は行っていない

市民共創会

岩田 修二 議員



過去最大の予算規模で
大型事業の目白押し。
借金も大型に。
将来負担が超心配



市民共創会
「録画映像配信」

問 目標達成に向けた最終年度の課題は何か。
市長 市民満足度が低い取組については、各施策の展開について、見直しを行う必要があると考えている。

2025年度一般会計当初予算施政方針
問 個別の歳入について、個人市民税対前年比13.9%増加見込みは過大ではないか。
市長 定額減税の影響がなくなること、さら

に24年の賃上げの情勢も踏まえて計上した。
問 ふるさと応援寄附金の見直しと今後の取扱い。
市長 「安定財源」ではないが、継続してご寄附いただけるよう一層努力していく。今回、財源不足が生じること、理解した上で、原則、経常経費への充当を取りやめ、充当先は投資的経費や重点項目とした事業としている。
問 改めて「ふるさと応援寄附金」を特別会計で処理する考えはあるか。
総務部長 考えていない。
問 市債が大幅に増加している。償還のピークが迫ってきているにもかかわらず、交付税で措置されるとは言え、大型事業が目白押しの予算編成の感が否めない。実施計画等を踏まえての事業化だと思いが、将来負担の増が市政運営に影響されるのではないか。
市長 持続可能な財政運営を目指し、来年度策定を予定している財

政改革にしっかりと取り組んでいく。
重点事業の概要

問 人口減少抑制対策について、移住定住に関係する庁内プロジェクトチームは何を議論して、成果目標は何か。
市長 主に「住居」と「仕事」の選択肢を拡大するため、関係課と課題を共有するとともに、解決策を議論していく。
問 学校給食費の更なる負担軽減について。



須崎市総合計画

市長 国では小学校の給食費無償化を26年以降に制度化したいとの方向で進められているので、引き続き国の動向を注視していく。
問 子どもの医療費窓口無料化実施の考え方は。
市長 26年4月診療分から実施するよう準備を進めていく。
問 キャッシュレス決済の促進とポイント還元の具体的事業展開は。
市長 国でも推進をしており、実施時期など具体的な制度設計は今後順次決めていく。

(代表質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

いいよね須坂

早川 航紀 議員

厳しい須坂市の財政状況。
サービスとモチベーション
を低下させない改革を



いいよね須坂
「録画映像配信」



身を切る改革をする覚悟は 痛みを分かち合う財政改革へ

問 施政方針において須坂市の厳しい財政状況について言及され、ふるさと納税に頼らない財政運営をされていると説明をされた。試算では24年度時点で36・6億円ある財政調整基金が27年度には19億円まで切り崩されるとのこと。市として健全財政維持プログラム2025を策定することとが、目標の基金残高と達成までの期間は、5力年計画で考えており、財政調整基金残高を20億円程度は維持していきたい。試算どおりいけば、27年度に一度19億円まで落ち込んでいるが、そこから20億円に増やしていくのか、早急にテコ入れをして現在36・6億円ある基金が20億円まで減った段階でそのまま維持をしていくのかで、改革の内容やスピード感は全く異なる。どちらのプロセスを考えているか。

須坂市の財政推計



このままいくと27年に財政調整基金は枯渇

意 須坂市の公式ホームページに事務事業評価表が掲載されているので、ぜひ市民にも見ていただきたいと思います。現在の運用方法は形骸化しているところを、見えない箇所も見え、そのためのフォーマットと運用方法とをかなり見直しをかけて

須坂市事務事業評価表2024年度



事務事業評価の適切な
運用で効率化を

問 健全財政維持プログラム2025の策定について、インター周辺開発による影響を踏まえて少なくとも27年度までは毎年計画の見直しをするべきではないか。

総務部長 現状をまず把握し、変化する部分についてはしっかりと修正していくべきだと考えている。

問 健全財政維持プログラム2025の策定について、インター周辺開発による影響を踏まえて少なくとも27年度までは毎年計画の見直しをするべきではないか。

総務部長 現状をまず把握し、変化する部分についてはしっかりと修正していくべきだと考えている。

新たなバスルートの導入は

須坂駅とイオンモール間を検討中

地域公共交通の充実による移動環境の整備

問 イオンモール須坂にバスターミナル機能は設置されるのか。
まちづくり推進部長 既存のバス路線が乗り入れ可能なバス停を敷

岡田 宗之 議員

プリント倶楽部（プリクラ）は学生時代の欠かせないアイテムで、なくてはならない存在

地内に設置する予定。

問 須高3市町村の共同事業として実施すれば費用負担が少なくなり導入しやすいと考えますが、須坂市・小布施町・高山村とイオンモール須坂を結ぶ循環バ



岡田 宗之
「録画映像配信」

ス導入の可能性は。

まちづくり推進部長 現時点では多額の補助金が必要であり、運転手不足の問題もあるため導入は困難と考える。
問 通学バスの特に下校時の増便や運行時間の見直しは可能か。
まちづくり推進部長 運転手不足のため増便は困難だが、運行事業者に意見を伝える。

問 バス代が負担との声があるが、高校生の運賃割引制度の導入を。
まちづくり推進部長 学生向け定期券の割引について運行事業者と協議中。

問 運転手不足問題への対策は。

まちづくり推進部長 募集広告支援や支援金交付を実施し、ドライバー募集活動を支援している。募集広告に女性歓迎を表記して、運転体験会を実施。既に女性ドライバーも活躍している。

商業活性化の強化

問 市街地の商業強化とイオンモール須坂と

の連携策は。

産業振興部長 イオンモール須坂内に仮称須坂市ブースを設置して、土産品や小売商品の紹介を強化して、市内店舗をPRする。また、キャッシュレス化の推進を図りつつ、WAO Nポイントの相互利用を推進し、市街地の商店への誘客を図る。

意見 高校生モニターから「須坂市に一番必要なのはプリクラ」との声が上がった。現在、市内にプリクラはなく長野市まで行く必要があるが、イオンモ



下校時のバス増便や運行時間見直しに期待（ラッピングバス）

ール須坂に設置される可能性はある。しかし、若者が利用しやすい安価なバス移動の確保が求められる。さらに、市役所にプリクラを設置すれば若者の来庁を促し、政治を身近に感じてもらえる効果も期待できる。

市民の移動環境整備は生活の利便性向上や地域経済の発展につながる。イオンモール須坂開業に向け、公共交通の充実が重要であり、学生や高齢者の移動手段の確保を期待する。

水道料金値上げ、いくら上がるか

一般家庭で最終的に4割程度上がる



荒井 敏 議員

湯っ蔵んど、令和9年3月末で
指定管理終了。
5年間温泉事業継続で無償譲渡。
誰かお願い



荒井 敏
「録画映像配信」

問 水道事業は、人口減少で、水需要も減少し、料金収入の増加は見込めない。老朽化していく水道施設の更新や耐震化対応等費用も増加する。そこで、水道料金を見直し、27年4月から上水道9%下水道8.5%の値上げをし、その後5年ごとに4回の改定をすることを、水道料金等審議会に諮問するようだが、最終的には一般家庭でどの位上がるか。

水道局長 2カ月で30m使用する平均的な一般家庭での水道料金は、現在6200円が8800円位になる。

人口、東京一極集中

問 人口の、東京一極集中が止まらない。昨年の須坂市の転入者と転出者数は10人の社会減だ。須坂市の社会増をもっと増やすには、

須坂市の魅力を高めることが必要だ。それには就職先支援や住居支援事業、子育て環境の充実が必須だ。

子育て環境の充実で、当事者が重要視する所は、仕事と育児の両立支援、医療機関の充実、保育機関の充実と治安が良いことだが、須坂市は医療機関の充実が不十分だ。今年度も信州医療センターの小児科支援に予算付けしているが、対処療法で根本的な改善が必要と思うがいかがか。

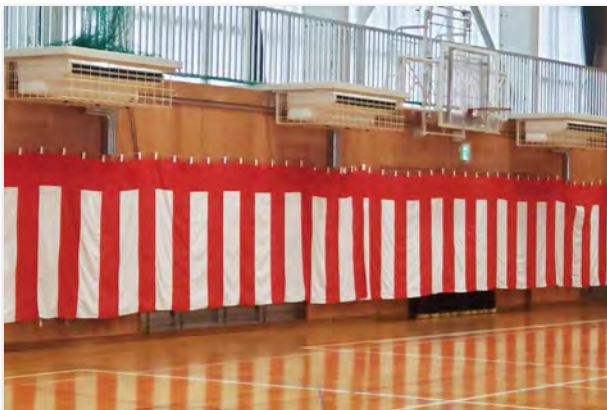
市長 移住希望者や須坂市出身の若者に「須坂市に住みたい」と思ってもらえる魅力的な市にするために、議員がおっしゃるように、仕事や住居、子育て環境などを充実させる必要があると考えている。また、今、須坂市に住んでいる方、特に若者に、須坂市の魅力を認

識してもらったことも大切だと思います。

体育館の空調設備設置

問 全国の学校体育館への空調設備設置を、政府も「空調施設整備臨時特例交付金」を新設して、助めている。真夏の体育授業時の熱中症対策と、災害発生時に、避難施設となる小中学校の体育館に、冷暖房設備設置は必須

だ。特に災害時には、復旧が早いLPガスの電源自立型ガスヒートポンプ式エアコンが最適と思うがいかがか。
教育次長 体育館に空調設備を設置することで生徒の健康と安全や快適な学習環境の提供など様々な好影響がある。災害時避難所等に冷暖房設備は必要であり、他市町村の事例を参考に検討していく。



下條中学校体育館に設置された冷暖房機器
(紅白幕の上部)

八町線北原区間に街路樹植栽を

計画はないが…

水越 正和 議員

官製の須坂砂漠化は、
市民にとって望ましいと
は思えない



水越 正和
「録画映像配信」

問 都市計画道路八町線の北原区間はいつ頃竣工予定か。
まちづくり推進部長 現在までの進捗率は事業費ベースで30・5%で国費の配分にもよるが27年度を予定する。歩道上に植栽計画

はあるのか。
まちづくり推進部長 北側からの継続事業であり植樹は設置しない計画だ。
問 既存の南側、小山区間は「山モミジ」の街路樹が植えられておりその延長線上とも考

えられる。再考を。
まちづくり推進部長 近年、道路沿線住民から路樹を撤去してほしいとの要望が多数寄せられている。また、剪定費用も300～400万円掛かっていること等も考慮すると難しい。
問 潤いのない道路空間になってしまふ。
まちづくり推進部長 沿線住宅の敷地内に生垣等を作ってもらうことで対処したい。

問 最近の住宅敷地面積事情は50坪位が多く、住宅と車庫を作れば、緑地スペースもという考えは無理がある。小山区間に植栽されてる街路樹は成長が遅く枯葉のポリウムも少ない。見た目も良く街路樹に適している。沿線住民が望めば街路樹植栽は可能か。
まちづくり推進部長 地元からの積極的な要望があれば対応したい。
問 八町線と臥竜線の交差点（小山小学校南交差点）を八町方面から車で進入すると、低速でも激しい上下動を生じる危険な状態だ。
まちづくり推進部長 指摘を受けて現地確認を行った。臥竜線を盛り上げることで対応できそうなので、来年度か再来年度改善したい。



八町線 旧泉小路の道路「？」

問 駅前線と屋部線の交差点付近（市営駐車場東隣）に数十年も拡幅されていない箇所がある。人や車の通行にとって危険な状態が続いているので早急に対策を講じるべきだ。
まちづくり推進部長 当時、物件補償等で地権者と折り合いがつかず、現在の状況になっ

ている。自転車や歩行者の通行が危険なことから来年度、交通安全対策を講じる。
問 その交通安全対策とは何か。
まちづくり推進部長 狭い部分の路肩にグリーンベルトを設置する。
問 それでは最終的な解決にならない。何十年も放っておいたと思われる。地権者も代替わりしているはずで、買収交渉を再開すべき。
まちづくり推進部長 改めて交渉に伺う。



八町線 小山区間の道路「！」

（一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。）

女性活躍社会実現の積極的取組は

一定程度成果があがる取組を検討



浅井 洋子 議員

ポイントを上手に使いれば、タクシーだって安く乗れる。運転免許返納者も利用できる



浅井 洋子
「録画映像配信」

問 市民意識調査を分析し、現状と課題から男女共同参画をどのように見直していくのか。学習会やフォーラムを通じて手ごたえを感じているか。実践につながる知識、意識啓発は高まっているか。

社会共創部長 「女性の立場や視点での意見が必要で、地域が活性化する」等の感想をいただき、意識啓発は進んでいると感じる。男女共同参画実現の取組は広範囲で、新たに考

える課題が次々に表出しており、課題を把握しながらより良い取組を進めていく。

問 市長の公約に「若者、女性がより活躍できる地域を目指す」とあるが、これらを実現するには、さらに積極的な取組が必要と思うが考えはあるか。

社会共創部長 市長とは必要に応じ、鋭意情

報交換を行っている。

問 今までと同じではなく、もう少し積極的な取組をしないといけない。提案だが、何年か前まで実施していた寸劇は直接訴える力があると思うが、復活する考えはあるか。

市長 コロナ禍の前に開催しており、とても評判が良かった。もし寸劇をやるとすれば、実際に懸案となっている事項がテーマになり、すごくいいと思うが、関係の皆さんに相談したいと思う。

生きがいづくりと社会参加の推進

問 高齢者交流昼食会は地域によって内容が違っているようだ。物価高騰も相まって、資金不足や、昼食会を支える側の行き詰まり感があると聞いているが、見直す時期ではないか。

健康福祉部長 通常の交流会を再開している地区もあるが、今後、民生児童委員の皆様は費用や負担感について意見を聞きながら検討する。



にぎやかに行われていた高齢者交流昼食会
須坂市社会福祉協議会提供

健康福祉部長 就労的活動支援コーディネーターは、民間企業、団体等と働きたい高齢者の特性や希望に合った活動を組み合わせて調整する。有償ボランティアのマッチング役であり、シルバー人材センターとは別である。

問 元気で働きたいと思っている高齢者は多い。就労的活動支援コーディネーターの配置を考えているとのことだが、シルバー人材センターの役割とかぶるところはないか。



湯っ蔵んど存続希望が87%

2027年度完全民営化を目指す

牧 重信 議員

コンパクトシティ構想の中で、
早くシンボルタワーを



牧 重信
「録画映像配信」

問 日帰り温泉施設「湯っ蔵んど」今後のあり方アンケートの結果を受け今後の方針は、産業振興部長 27年3月で指定管理による運営を終了し、4月以降の運営は譲渡条件を付けて完全民営化を目指す。

す。事前のサウンディング型市場調査で温泉事業参入意向事業者がいない場合は、温泉事業を廃止した施設活用を検討する。本年4、5月に市民説明会を実施予定。

2025年問題

問 国民の5人に1人が後期高齢者となる。医療や介護分野で市独自の取組は。

健康福祉部長 須高地域の共通課題に取り組むため、10年に須高地域医療福祉推進協議会を設置。医療と介護両ニーズを有する高齢者の増加が予想され、入院してもスムーズに在宅生活に戻れるよう、須高地域入退院時連携調整ルールを策定した。

問 医療福祉分野における課題は。

健康福祉部長 本市の一人当たり後期高齢者医療費は県内19市中最少。日頃から健康づくりや介護予防を実践し、身近な地域で仲間づくりや社会参加をすることが大切。福祉分野最大の課題である人材不足解消に取り組む。

交付金によるイベント

問 新年度全体構想は、市長 恋人の聖地交付金を活用して、「健康スモーリーフェス」

「新規就農者ぶどう祭りin恋人の聖地」峰の原高原活性化事業」「臥竜公園フェスティバル」わくわくくぐり竜山」を開催。花めぐり観光を通じて若者が集うまち創出事業や小学生を対象とした生花の体験授業を実施する。

旧須坂ショッピングセンター（パルム）

問 市としてできる提案はあるか。

まちづくり推進部長 須坂市立地適正化計画



市民の「湯っ蔵んど」存続希望に応えられるか

の都市機能誘導区域内にあることから動向を注視。協同組合や株式会社ビル以外にも土地建物所有者や居住者もいる。破産管財人や債権者、土地建物所有者で方針を検討いただくことが最優先。

意見 2年間で2万人以上が来場した「蔵のまちスクウェア」イベント中止は、中心市街地活性化や産業振興のため交流人口増加を図る上で残念。政策の優先順位を見直そう。

緊急度判定支援システムの導入は

指令業務の共同整備で運用する



西脇 隆 議員

いよいよ迫る今秋の
イオンモール須坂の開業。
ワクワク感でいっぱい



西脇 隆
「録画映像配信」

問 救急出動回数や患者数の増加に伴い、いち早く患者の状態を評価し搬送先の決定をしなければならぬ。

搬送中の患者の状態評価をする緊急度判定支援システムは、救急隊員の負担を軽減し素早い搬送を実現することで、導入を計画するべきでは。

消防長 須坂市消防本部には当該システムはない。今後、長野市消防局との高機能消防情報指令システムの共同整備に伴い、当該システムを運用する。

問 長野市消防局との通信指令業務の共同運用に関し、各部局で部隊運用や勤務体制が異なるが、業務が円滑に行われるのか。

特に、通信指令センター内で長野市の2交代勤務と須坂市の3交代勤務では運営に支障はないか。

消防長 通信指令業務の共同運用は、通信指令業務の共同化のみで、その後の部隊運用はそれぞれの本部で行う。指令センター内の勤務については、3交代勤務をはじめ勤務体制の統一に向けて、協議会として協議している。

農業政策について

問 米生産者の平均所得は年9万7千円で、時給換算で百円にもならないという。

主食である米をある程度確保していくという視点や、多面的機能の維持により水田をある程度確保していくと考えると、米生産者への直接払いの給付金制度が必要な時代になったのではないかと思う。市が独自に給付金制度を制定してはどうか。

産業振興部長 国が考えることであり、市が独自に主食である米を確保する考えはないこと、水田の維持についても強制はできないことから、市独自の給付金制度の制定は考えていない。

する営農組織を考えているのか。それとも、個別経営者の育成や拡大を推進していくのか。

産業振興部長 市の地域計画は3月31日公告予定。果樹地帯が主である須坂市では、集落営農といった方法が馴染まないと考え、ことから、個別経営者の育成・拡大に引き続き取り組んでいく。



須坂市消防本部の高規格救急車

須坂市の子育て施策の強みは

切れ目のない支援

野崎 天馬 議員

子どもたちを取り巻く環境がどんどん変わってくる。スピード感のある対応が必要



野崎 天馬
「録画映像配信」

問 須坂市では子どもは宝プロジェクトとして子育て施策を打ち出している。他市と比較しても早期から始めた事業もあり、他にはない独自の子育て施策もある。しかし近年、給食費無償化などの支援

を行うところも出てきた。将来を見据えた時に無償化が良いのかは分からないが、良い悪いではなく子育て施策の目玉が分かりやすいことは重要と感じるがいかがか。
教育次長 新たな施策

はないが、伴走型支援として他市町村に先駆けて取り組んだり、「5歳児すこやか相談」を06年度から実施。ほかに、幼保小連携に力を入れており、園で育まれた非認知能力や「園の学び」を「小学校の学び」につなげ伸ばしていくために、「園小連携推進会議」を定期的に開催している。
問 新年度新規事業の移住PR業務委託事業では、主なターゲットが首都圏の子育て世帯となっている。パイの取り合いをする上で、子育て施策の内容、見せ方、工夫が足りないように感じるがいかがか。
教育次長 見せ方の工夫は必要と考える。

部活動地域移行に関わるスポーツをする子どもの環境

問 25年度はどのように進むのか。
教育次長 5～6月にかけて、1、2年生を対象に地域クラブ希望者を募集し、7月頃から中学校に部活動があ

る全ての種目・活動で順次、休日に月1回程度、地域クラブ活動の試行を行う予定。まずは休日に月2回以上実施することを目標に実施し、会費は10月から3月までの6カ月分3千円と保険料800円とする予定。
問 文化系の部活動も同じか。
教育次長 同じ予定で進める。
問 困窮家庭支援の減免率は100%か。
教育次長 そのとおり。



地域クラブの様子

問 現状の給食でのカロリー摂取量は、夕方に運動系部活がある成長期の生徒にはとても足りない。エネルギー不足は集中力が欠けケガの誘因になりやすく、未来あるアスリートの育成に支障が起ることから、部活動前に補食できる体制が作れないか。
教育次長 大切なことと捉えている。今後、地域クラブの活動状況を見の中で、検討していきたい。

浅野 隆義 議員

何をしてもらうかではなく、
私たちに何ができるかを
考えた時に可能性が生まれる



浅野 隆義
「録画映像配信」



製造業支援を柔軟にする考えは チャレンジを後押しする体制を築く

製造業の経営環境と支援策について

問 経営環境をどのように認識しているか。

産業振興部長 世界経済の先行きが不透明で、次期D-1（景況感指数）も低く予想されている。さらに、仕入単価の上昇、人材不足、受注の減少といった課題があると認識している。

問 分析を踏まえた対策は行われているか。

産業振興部長 効率化や人材不足対策として新たにデジタル人材育成事業や中小企業DX推進支援事業を実施。産学官連携の成果は。

産業振興部長 須坂創成高校と連携したデュアルシステムにより、昨年度までに企業協力会の企業へ60人が就職、今年度も10人以上が内定している。

問 デュアルシステムの課題や要望は。

産業振興部長 中小企業の受入れ負担、生徒の進路未確定によるミスマッチ、企業間の偏りをどう解消するかが課題。

問 信州大学工学部や長野高専との連携は行われているか。

産業振興部長 信州大学の学生と共同研究を行う企業を支援している。長野高専とは、講座の講師派遣や研究の助言を受けるなどの連携を行っている。

問 多角化、新規事業開発について、市の取組と支援状況は。

産業振興部長 講師や視察先の選定、企業間の連携や大学、研究機関との橋渡しに対応している。さらに、研究会を通じて先進企業を視察し、広域での情報交換を進めている。

問 新たな販路拡大支援の考えは。

産業振興部長 受注開拓事業補助金の拡充に加え、研究会活動をSNSで発信し、市内製造業全体の認知度やブランド力を向上させ、販路拡大につなげたい。

問 ものづくり拠点整備の考えは。

産業振興部長 財政的



信州大学
長野（工学部）キャンパス



長野工業高等専門学校

に難しいと考えているが、クリエイターやベンチャー企業が参画できる仕組みを研究する。

問 補助金・助成支援制度の利用状況と今後の展開は。

産業振興部長 新技術や新製品開発に対する補助は2件、研究開発の前段階の支援は3件、販路拡大の支援は5件で、それぞれ予算枠一杯の申請。先端設備導入に係る固定資産税軽減措置は5件を認定。企業要望に対応できるよう支援策を講ずる。

一貫校で不登校等は改善されるか

あらゆる課題の解決はできない

地域から学校がなくな
っていいのか

問 市民アンケートでは、義務教育学校に対する不安や疑問が多数寄せられているが、**教育長** 説明会等で、丁寧に答えていく。

問 小中一貫校「4・5制」の成果は、教育的に実証されているのか。先行自治体では、検証して「6・3制」に戻す動きもあるが、**教育長** 一貫校で、あらゆる課題が解決できるとは考えていない。

久保田 克彦 議員

小規模校の良さを生かす
特色ある活動で、子ども
の主体性を育む教育が、
地域にも伝わる



久保田 克彦
「録画映像配信」

問 仁礼小を高甫小に統廃合。分離型義務教育学校にする根拠は、**教育長** 統廃合ではない。東中の生徒の減少で、必要な教員配置ができないための提案だ。**問** なぜ一休型ではないのか。**教育長** 既存の校舎を活用して、効果的かつ効率的に行う。**問** 仁礼小は大規模改修が見送られてきた。安上がりの施設で、教職員を削減するという事ではないのか。**教育長** 限られた財源の中で有効活用する。

問 豊丘小を須坂小に統廃合する理由は、**教育長** 複式学級などの教育環境の改善と、通学問題を考えた。**問** 統廃合は、「対等・平等」がルール。「吸収・合併」では、子どもに大きなリスクを負わせることになる。**教育長** 豊丘小については、地域の方も、子どもたちも現存を望むなら検討が必要になる。**問** 25年度中を前提としないで、市民の意見を反映した方針を。**教育長** 計画どおりだ。

公立保育園で、炊き立てご飯給食を

問 ご飯給食を望む保護者が8割、要望に応えないのか。**教育長** 直ちには対応できない。

問 各園で土曜保育を。**教育長** できない。**問** 2歳未満児の育休退園の解消を早期に。**教育長** 柔軟に対応。

住民合意のない減便・停留所廃止は見直しを

問 市民バスの減便、豊丘上町のバス停留所はどうか議論されたか。**まちづくり推進部長** 乗車実態などの結果を踏まえて検討した。

問 減便・廃止の押し付けでなく、地域での住民合意は欠かせない。**まちづくり推進部長** 現状に即して見直すことは避けられない。

問 地域交通の役割は、まちづくり推進部長 採算性のみでなく、高齢者の外出機会の確保など考慮が求められる。



新入生を迎える豊丘小学校

山崎 永一 議員

「移住支援信州須坂モデル」
がさらに充実することを
期待しています！



山崎 永一
「録画映像配信」



移住定住政策のターゲットは 首都圏在住の子育て世帯を想定

問 移住定住政策を推進する庁内プロジェクトチームを結成することだが、その組織編成と具体的な取組は。

副市長 市長、副市長、政策推進課、まちづくり課、産業連携開発課等の組織体制を予定。移住増に不可欠な「住居」と「仕事」についての課題を共有し効果的な施策を展開したい。

問 今年度計画する具体的施策は。

副市長 国の補助金を活用した移住に関するランディングページ作成や検索連動型の広告での情報発信を予定。

問 住居不足対策としての「空き家バンク事業」は今年度から民間へ委託すると聞いている。どういった役割を期待しての民間委託か。

まちづくり推進部長 空き家を「売りたい・貸したい人」と「買いたい・借りたい人」の間にあって交渉したり業者を仲介したりすることが、行政では公平性の観点から難しい。民間ならではの自由な発想を生かしていただけたらと考えている。

問 イオンモール須坂の開業を移住定住に結びつけていくことはできるか。

副市長 須坂への来訪者の増加、雇用機会の創出、メディアへの露出は追い風になると考える。イオンモール開業による生活利便性の向上をPRしたり、移住体験ツアーの行程に組み込むことも検討したい。

問 チェーン店でない個性的な店が多くあることも須坂の魅力と感じる。移住体験ツアーでそういった店も紹介してみてもどうか。

副市長 プロジェクトチームの中で協議していきたい。

問 自治体間での移住者の取り合いが過熱するなか、市外へ出てしまった須坂出身者のUターンに繋がる政策はとも重要と感じる。進学等で須坂市を出た若い方とつながりを保つ政策は行っているか。

市長 以前、東京で信州須坂の集いを開催していたが今はない。就活イベントの際などに

須坂市の企業が出展しているの、行政が連携するのも大切だと考える。

意見 須坂のことを「いつか戻ってきた町」「いつでも戻れる町」と思ってもらうためにも、就職活動のタイミングに限らず、つながりを保つような努力をしていく欲しい。



移住相談会須坂市ブースの様子

吉向焼購入に議員の働きかけは

あったが影響はない

宮本 泰也 議員

ふるさと納税返礼品
「産地偽装問題」市は
全力をあげて信用回復を



宮本 泰也
「録画映像配信」

健全な財政運営と格差
分断社会の是正

問 吉向焼購入の経過
は。

市長 交渉で指定文化
財のみの取得は困難だ。
作品の内、指定文化財
と作地が須坂と思われ

初代行阿の作風の特徴
が良く表れた貴重な作
品のみ取得したい。
問 岡信孝画伯の絵画
も活用されていない。
吉向焼活用ビジョンは。
市長 あくまでも文化
芸術として残すべきで、
様々な場で活用できる。

問 「2025須坂市
の財政推計と今後の展
望」で、財政調整基金
残高、24年度、36億6
千万円が27年度1億9
千万円になるとの極め
て厳しい推計値だ。ど
う対応するのか。
市長 物価高騰等で厳
しい財政状況となり財
政推計をやり直した。
ふるさと納税は、原則、
経常経費への充当をや
め、不足を財政調整基
金で対応。今後、事業
見直し、職員数適正管
理、公共施設の見直し
と受益者負担の適正化
等財政改革に取り組む。
問 市政21年間で行革
は何をしたのか。
市長 職員の給料等も
削減するなどそのとき
どきで、財政・行財政
改革をやってきた。
問 市長は大きなこと
はしてこなかった。技
術情報センター、須坂
温泉、湯つ蔵んど、笠
鉾会館等見直しを。
市長 議員から施設の
廃止について提案して
もらいたい。
問 区長、民生委員、
安協等区業務の見直し
を。

市長 昨年、区長会な
どの意見で配布物の削
減などに取り組んだ。
それぞれの御意見を聞
く。

子育て政策

問 3歳児健診で吃音
の問診項目がないこと
への対応は。

教育長 問診項目はな
いが、3歳児・2歳児
健康相談、妊娠子育て
なんでも相談「おひさ
ま」等で対応している。
来年度予定している問
診内容の見直しにあわ
せ、項目の追加を検討



市政始まって以来の危機に
吉向焼を購入する余裕はない

する。

問 5歳児健診実施は。
教育長 発達障がい
を診察できる医師の確保
やフォローアップ体制
の整備等が必要。今後、
「5歳児すこやか相談」
との位置づけ等関係部
署で検討する。

問 いじめの認知件数
と児童・生徒の自殺件
数が24年度過去最高を
更新した。他市では市
長部局のいじめ防止対
策専門部署を設置して
いる。市の考えは。
教育長 今のところ設
置は考えていない。

竹内 勉 議員

ふるさと納税の産地偽装問題は責任重大。議会も一致団結して取り組まないといけない！



竹内 勉
「録画映像配信」



くつろぎ荘の入浴施設の廃止は 市長部局で昨年9月に決定した

問 「高齢者が住み慣れた地域で支え合い、尊厳を持って自分らしく生きることができる社会の実現をめざす」を基本理念とする高齢者いきいきプランに逆行する入浴施設の廃止はおかしいと思いで伺うが、老人福祉センターの目的は。

副市長 高齢者の生きがい対策や福祉の増進を図る場を提供することを目的とする施設だ。**問** くつろぎ荘の入浴施設の廃止は、いつどのように決めたのか。**副市長** 24年9月の概算設計で、特定天井の工法変更、利用者等の要望による改修箇所の追加、労務・資材費の高騰により、23年12月の実施計画の概算工事を1億3500万円上回った。

その後、理事者や総務部と打合せを行い、毎年500万円程度の維持管理費の負担、入浴施設の利用者数の減少など、市全体の財政状況も踏まえ、入浴施設の廃止を決定した。**問** くつろぎ荘の入浴施設廃止の説明会で出された意見・要望について担当課の受け止めは。**副市長** 25年1月17日に利用者・利用団体に2月18日に入浴施設利用者の説明会を開催した。説明会などで出された意見・要望として、「音楽や運動ができる部屋が増えることに期待」「お風呂に入ることが楽しみ」「居場所がなくなってしまう」「家にお風呂がないのでくつろぎ荘に来ている」「経費がかかるので廃止もわかる」「他の温泉施設に入れるよう補助してほしい」など。



くつろぎ荘の入浴施設は存続すべきだ

切な施設であることを実感した。

高齢者の生きがいを奪う入浴施設廃止に反対

問 永楽荘は近い将来廃止、湯つ蔵などはどうなるか分らない、須坂温泉は代替案として事業者と一致していない。代替案を具体化してから説明会を開き方向性を決めるべきだ。現時点での予算計上

は取り下げて、高齢者の生きがい対策として入浴施設は存続すべきではないか。**市長** 須坂温泉、湯つ蔵など、永楽荘、くつろぎ荘に入浴施設がある。公共施設見直しの関係があるので、どの温泉施設を残していくか。くつろぎ荘について当初の方針でやる。代替案は他の温泉施設の活用を考える。

学校の一人一台端末の更新計画は

6月に本契約を予定

堀内 章一 議員

空調設備整備臨時特例
交付金の早期実施に向けた
支援のポイントが5つ
示されています



堀内 章一
「録画映像配信」

問 GIGAスクール構想で配備された一人一台のタブレット端末は全国で950万台。今後、これらの端末が、順次、更新時期を迎えるが、端末更新計画のスケジュールは、**教育次長** 4月に仮契

約し、6月議会で本契約の議決を予定している。また、新しい端末は26年1月の三学期から使用開始することを想定している。**問** 端末データの個人情報漏洩等の責任を問われることがないよう、対策は。

教育次長 文科省等からの通知に基づき、小型家電リサイクル法の認定事業者に端末処分を依頼していく。

問 認定事業者への委託及びデータ消去等に必要な予算措置は、**教育次長** 26年度当初予算に計上。その際、約2600台のiPadの下取りも想定しながら検討していく。

文化芸術の促進

問 劇場音楽堂などで行われる実演芸術を、子どもたちが無料で鑑賞できる、文化庁の支援事業補正予算20億円が計上されている。劇場等での鑑賞に18歳以下の子どもは、上限3万円までのチケット代が全て無料になる。更に、一人で鑑賞することが難しい子どものための同伴者は半額となっている。

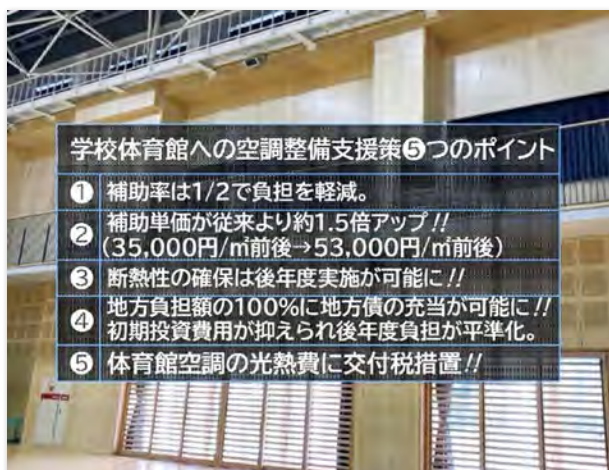
文化芸術を無料で鑑賞できる「劇場音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」の導入の考えは。

副市長 普段、子どもたちが触れる機会が比較的少ないと思われる、本格的なオペラ、バレエ、オーケストラ、歌舞伎、能楽、演劇等の公演を鑑賞する機会となり、大変有意義な事業であると認識する。導入が可能かどうか検討していく。

学校体育館への空調設備設置促進

問 文科省から示された臨時特例交付金を活

用した、学校体育館等への空調整備の早期実施に向けた加速化支援の取組は。**教育次長** 空調施設整備臨時特例交付金は、33年度までの時限措置であり、全国の学校体育館等への空調設備設置を加速させるための交付金と認識している。また、体育館等の避難所としての機能強化の観点や、市の財政状況、他市町村の取組等を複眼的に見ながら検討していく。



荒井 一彦 議員

文化財は郷土の象徴、
郷土の自慢、郷土の宝。
もっと積極的に活用を



荒井 一彦
「録画映像配信」



市の文化財を活用した振興を 市の全部局で連携して活用したい

問 現在の市内指定文化財の種類と数は。

社会共創部長 国、県、市などの指定文化財は、有形・無形、史跡・名勝、天然記念物など計104件。

問 文化財の所有者の変更、保護状態などの把握はどのように。

社会共創部長 所有者の皆様は2年に一度「現況確認調査票」を送り把握している。

問 保存・活用に対する補助金活用は。

社会共創部長 事前相談後、補助金交付要綱に基づき実施し、審査後に支払っている。

伝統芸能の保護と継承

問 市内伝統芸能の実態把握は。

社会共創部長 毎年、調査票を送り、実施内容や困り事などを把握している。

問 気運向上のために、

イベントに出演依頼を。
社会共創部長 今後もイベント出演を積極的に検討し依頼する。

伝統野菜（生きる文化財）の保護と伝承

問 栽培や販売での、実態や課題は。

社会共創部長 現在、沼目越瓜（しろうり）が9名、八町きゅうりが4名、村山早生ごぼうが10名の会員で生産課題は、高齢化、収益が低いことなど。

問 新しいレシビを考えてイオンモール等で販売促進してはどうか

社会共創部長 販売促進をし伝承を支援する。

超高齢化社会に向けて

問 成年後見制度利用の注意点は。

副市長 預金や不動産の管理などが難しくなり、不利益な契約や悪

徳商法の被害にあう恐れがある高齢者等を守り生活を支援する。社協に須高地域成年後見支援センターを設置。法定後見と任意後見の長所、短所、注意点を良く理解して利用を決めることが大事。

地域包括支援センター

問 高齢者が困っている



市指定天然記念物、樹齢450年の「大広院の桜」

でどこへ相談したら良いかわからない、漠然として説明できない場合など、どんなことでも相談できると聞いているが相談方法は。
副市長 生活や介護、人権や財産など様々な面から高齢者を支える総合機関。まずはセンター窓口（市役所でも対応）へ連絡を。

3月定例会の議決結果

全会一致による可決案件



「議案説明書」



「追加議案」



「議会提出議案」

番 号	件 名
議案第 2 号	須坂市賑わい創出拠点やまじゅうの指定管理者の指定
議案第 3 号	市道の廃止
議案第 4 号	市道の変更
議案第 5 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
議案第 6 号	須坂市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
議案第 7 号	須坂市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 8 号	須坂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 9 号	須坂市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
議案第 10 号	須坂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第 11 号	須坂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第 12 号	須坂市賑わい創出拠点やまじゅう条例の一部を改正する条例
議案第 13 号	須坂市公共物管理条例の一部を改正する条例
議案第 14 号	須坂市水道法の施行に関する条例の一部を改正する条例
議案第 15 号	須坂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
議案第 16 号	須坂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
議案第 17 号	2024 年度須坂市一般会計補正予算第 8 号
議案第 18 号	2024 年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第 5 号

番 号	件 名
議案第 19 号	2024 年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計補正予算第 2 号
議案第 20 号	2024 年度須坂市介護保険特別会計補正予算第 4 号
議案第 21 号	2024 年度須坂市後期高齢者医療特別会計補正予算第 4 号
議案第 22 号	2024 年度須坂市水道事業会計補正予算第 4 号
議案第 23 号	2024 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 1 号
議案第 24 号	議案第 24 号に対する附帯決議
議案第 25 号	2025 年度須坂市国民健康保険特別会計予算
議案第 26 号	2025 年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計予算
議案第 27 号	2025 年度須坂市介護保険特別会計予算
議案第 28 号	2025 年度須坂市後期高齢者医療特別会計予算
議案第 29 号	2025 年度須坂市水道事業会計予算
議案第 30 号	2025 年度須坂市下水道事業会計予算
議案第 31 号	2025 年度須坂市宅地造成事業会計予算
議案第 32 号	須坂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
同意第 2 号	固定資産評価員の選任 吉川一夫氏（新）
同意第 3 号	公平委員会委員の選任 古平幸正氏（再）
同意第 4 号	固定資産評価審査委員会委員の選任 竹前 弘氏（新）
議会第 1 号	須坂市議会の個人情報の保護に関する条例

賛否が分かれた案件

議案等名			議決 結果	市民共創会			いいよね須坂				共産		清風会		輝奏会				ｼｭﾌﾞ	公明		
				宮本泰也	荒井敏	岩田修二	浅野隆義	山崎永一	西脇隆	早川航紀	野崎天馬	竹内勉	久保田克彦	牧重信	荒井一彦	霜田剛	中島義浩	岡田宗之	浅井洋子	水越正和	酒井和裕	石合敬
議案第 24 号	2025 年度 一般会計 予算	老人福祉センター整備事業に関する修正案（くつろぎ荘改修工事予算の削除） 提出者：竹内 勉、久保田克彦	否決	○	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
		文化施設管理事業に関する修正案（吉向焼購入予算の削除） 提出者：宮本泰也、荒井 敏	可決	○	○	△	○	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
		修正部分（吉向焼購入予算の削除）を除く原案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

☆ ○は賛成 ●は反対 △は退席 ☆ 議長 石合 敬 は可否同数以外は採決に加わらない
☆ 会派名の略称：共産→日本共産党 シュブ→シュプリングエン 公明→公明党

第1回臨時会の審議結果

全会一致による可決案件



「臨時会議案説明書」



「臨時会補正予算」

番 号	件 名
承認第 1 号	専決処分の承認を求めること（2024 年度須坂市一般会計補正予算第 7 号）（承認）
議案第 1 号	2023 年度防交交付金事業市道村山八町線道路改良工事請負変更契約の締結
同意第 1 号	監査委員の選任 岩田修二氏

陳情審査結果
(3月定例会)

陳情第1号
政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情

陳情者
パワハラから職員を守る長野県民の会
代表 衣川弘明

採決結果
間置 (総務文教委員会)

議会の動き

議会改革等検討特別委員会を設置

委員長に浅井 洋子氏
副委員長に浅野 隆義氏

第1回臨時会において、議会改革等検討特別委員会が設置された。委員は各会派から9人。

- 1 議会改革、議会活性化の推進に必要な施策について
- 2 市議会に対する市民の関心を高める方策について
- 3 その他議会改革等に係る諸課題等について

検討課題は広範にわたり、議会の改選が2年後に迫っていることから、今後、具体的な検討課題を絞って議論を進めていく。

検討状況については、本議会でも随時お知らせします。



進化し続ける議会 課題は？

フリーレンたちと学ぶ地方議会

全国の市議会で行く全国市議会議長会と、都道府県議会議長会、町村議会議長会、これからの地域を担うこともたちに身近な課題を自分のこととして考え、議論し、合意形成を図ることの大切さや、地方議会・議員の役割を知ってもらおうと、若者に人気の漫画『葬送のフリーレン』のキャラクターを使用した主権者教育用リーフレットを作成しました。

議会に関する知識を深めるための特設サイトも開設されました。

リーフレットと連携して議会の制度の詳しい知識を学んだり、クイズ形式で楽しみながら学んだ知識を確認することができま



議会議長特設サイト「あなたと議会」

行こうか。
地方議会を知る旅路へ。

市議会ミニクイズの答え

Q1
正解は、①20人

昭和29年の須坂市が誕生してから、合併などで一時的に議員数が増えることがありましたが、30年以上経過した昭和60年代以降、定数は少しずつ減って、現在は20人になっています。

1987年（昭和62年）から28人

1999年（平成11年）から26人

2003年（平成15年）から24人

2007年（平成19年）から20人

Q2
正解は、③6人

現在の須坂市議会の女性議員は20人中11人です。

全国では女性議員が議会の半数を占める市や町もあります。



須高行政事務組合議会

2月17日

24年度補正予算は、歳入歳出それぞれ234万円を減額。歳入は市町村負担金の減額と、火葬場使用許可件数の増加による使用料の増額など。歳出は、人事院勧告に基づく職員給与費の増額と、所要額の精査による減額。

25年度予算では、歳入歳出総額を2億2960万円とし、市町村負担金や施設使用料を計上火葬場使用料は火葬件数増加を考慮し、65万円増額。歳出は、所管4施設の管理運営費や、物価高騰に伴う衛生センター管理委託料の増額を計上。それぞれ、原案のとおり可決した。

高山村外一市一町財産組合議会

2月20日

令和5年度決算は、歳入総額197万円、歳出総額188万円。

令和7年度予算は歳入歳出それぞれ141万円。前年度当初予算比0.4%増。主な歳入は高山村公・共有林管理協議会交付金、歳出は同協議会負担金。

令和6年度補正予算を含め、全て原案のとおり可決された。

長野広域連合議会

2月21日

定例会が開かれ、補正予算・当初予算・条例等が議決された。

（須坂市関係報告事項）

能登半島地震における災害廃棄物のうち、家屋解体に伴う木くずなどの可燃ごみの受入が昨年12月から始まり、「ながの環境エネルギーセンター」にて焼却処理。リサイクルできない灰などの埋立処理を令和8年3月まで「エコパーク須坂」で継続して行う。

高齢者福祉施設等の若手職員の確保が難しく、民間移譲、閉所も含め検討している。

※1万円未満を切捨てて表記しています

イオンモール等出入口計画案示される

インター周辺等開発特別委員会

3月19日

市担当から九反田町のラウンドアウト交差点とその周辺の整備中道路について、3月25日の午後に通予定であること、観光集客施設用地は、イオンモールとホームセンタームサシ、ヤマダデンキの建築工事が今年秋の開業に向けて順調に進んでいるとの説明があった。

また、交通混雑の緩和策を検討するため、長野県や長野県警察本部など関係機関と、イオンモールなど出店企業に参集いただき交通検討会議を開催していること、出入口の対応状況についての説明（別記）のほか、次期開発の検討についても発言があり、それぞれ意見交換を行った。

市民の皆さんへ届きますように

市議会広報特別委員会 新たなメンバーでスタート

議員任期4年の折り返しで、市議会広報特別委員会も新たな構成になりました。

前ページにありますように、全国的にも若い方に議会に関心を持ってもらう取組が始まっています。本紙でも高校生モニターのご意見をもとに、今号

出入口の対応状況（3月19日現在）

- ① 入口8カ所、出口8カ所
- ② イオンモールとムサシ、ヤマダ電機駐車場は通路で行き来ができ、一体として利用
- ③ 駐車台数は、平面3293台、屋上1278台、合計4571台あり、十分な数を確保（イオンモール松本 約2300台、イオンモール佐久平 約2000台）
- ④ イオンモール建屋の南正面東側にバス停が設置

からクイズコーナーやインスタグラムを始めました。議会での熱い議論が大勢の市民の皆さんに届きますように、創意工夫をしながら取り組んでまいります。



2024年度 全国から須坂への視察

何を
見たの？

月日	議会名	視察内容
5月15日	岐阜県 美濃加茂市議会	地域未来投資促進法を活用した企業立地について
5月27日	長野県 長野市議会	須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発について
7月9日	埼玉県 八千代市議会	須坂市新規就農者支援事業について
7月11日	新潟県 阿賀野市議会	「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業について ほか
7月17日	新潟県 五泉市議会	ペーパーレス会議システム導入後の状況について
7月24日	宮城県 白石市議会	インターチェンジ周辺地区開発について 公共交通計画及び公共交通施策について
8月2日	宮城県 東松島市議会	移住・定住施策について
10月3日	埼玉県 白岡市議会	果樹における6次産業化について
10月11日	埼玉県 吉見町議会	新規就農者確保の取組について
10月16日	愛知県 清須市議会	多職種連携地域母子保健システム「須坂モデル」について
10月18日	山梨県 山梨市議会	企業誘致事業（地域未来投資促進法）について
10月29日	新潟県 村上市議会	移住支援信州須坂モデルについて
10月30日	群馬県 太田市議会	災害時協力井戸について
11月14日	山形県 鶴岡市議会	保健補導員の活動について
1月21日	兵庫県 朝来市議会	共同調達・共同利用での文書管理・電子決裁システムの導入について
1月23日	静岡県 掛川市議会	あいさつ課の取組について（オンライン）



録画中継

■■■ 令和7年3月定例会本会議をインターネットで録画配信中 ご覧ください▶▶▶▶▶

市民の声

SUZAKA スポーツフェスタ会場でお聞きしました



(お母さん)
運動盛りでちょうど春休みだし、
体を動かすイベントがあれば助かります。
普段は姉妹でしか遊べないけれど、
こういったイベントがあれば同世代の子たちとも
遊べます。

(お姉さん)
スポーツイベントがあれば嬉しいし、
お父さんとも遊べる。体を動かしておいしいもの
を食べられるから楽しい！
4年生になったらリフティングができるように
になりたい！

(妹さん)
体いっぱい動かして楽しい！
年長さんになったらもっと足が速くなりたい！

黒岩さんご家族（本郷町）

お母さん Sさん

お姉さん Mさん（9歳）

妹さん Jさん（5歳）

傍聴にお越し
ください

令和7年 6月定例会 会期日程（予定）

月日・曜日	開議時刻	摘要
6月10日（火）	10:00	開会
17日（火）～20日（金）	9:30	一般質問
23日（月）～25日（水）	9:00	予算決算特別委員会（分科会） 常任委員会
30日（月）	9:30	予算決算特別委員会
7月 2日（水）	10:30	閉会

※上記日程は変更になる場合があります。
一般質問通告要旨は、地域公民館でもお知らせします。（6月13日以降）
傍聴時の託児・手話サービスがあります。（事前に議会事務局へご連絡ください。）
本会議場では大型モニターに発言の文字起こし表示を行っています。



スマートフォンなどで
「こんにちは須坂市議会です」電子書籍版を
ご覧いただけます

◀マチイログダウンロードは
こちらから

NAGANOebooks（ナガノイーブックス）
はこちらから



須坂市議会公式 SNS /



議会の予定や結果などを
お知らせしています。



インスタグラム

フェイス
ブックエックス
（旧ツイッター）

「こんにちは須坂市議会です」への
ご意見・ご感想は下記へ

須坂市議会事務局

電話：026-248-9014

FAX：026-248-3365

E-mail：s-gikaijimukyoku@city.suzaka.nagano.jp



須坂市議会HP

編集後記

新年度が始まり早くも1カ月が過ぎました。須坂市においては、3月1日からの納税地偽装問題が明らかになり、不安の中の新年度スタートとなっていました。今後の市の対応にしっかりと目を光らせて対応してまいります。そんな中ではあります。私たちが市議会広報特別委員会もメンバー構成が変わり、初めての発行となりました。少しでも多くの市民の皆様が読んでいただき、須坂市で今どんなことが起きていくのかをわかりやすく伝えたいと考えています。一層工夫を怠りません。後とも市議会広報特別委員会一同をよろしくお願いたします。

（野崎）

市議会広報特別委員会
委員長 野崎 天馬
副委員長 水越 正和
委員 山崎 永一
委員 牧崎 重信
委員 久保田 克彦
委員 宮本 泰也
委員 浅井 洋子